

街かどフラッシュニュース

Flash news of the street corner

馬路石邊神社の豊年踊り



**農作物の豊作を祈って
昭和に一度途絶え、地域住民の手で復活**

馬路石邊神社の祭礼が執り行われ、市指定無形民俗文化財の豊年踊りが披露されました。5日は御旅所での祈禱のあと豊年踊りが始まり、華やかな衣装に身を包んだササラ摺り、笛、鉦の囃子に合わせてうちわを持った踊り子が「サンヤレ」と順に歌いながら左回りに踊り、中央では太鼓持ちと花笠を被った太鼓打ちが踊りました。

5月4日、5日 | 馬路石邊神社、御旅所

もちつき神事



**春の例大祭、宵宮の神事
住民同士の絆を深める**

例大祭を前に、地元住民がにぎにぎしく「もちつき神事」を行いました。宵宮の大切な儀式であると同時に、農繁期直前の体力作りや住民同士の絆を深める狙いもあるといわれます。一堂に集まり朝膳を囲んだ後は、古くから伝わる「もち搗き歌」が流れる境内で老若男女が2臼(約3kg)の餅をつき、鏡餅にして神社に奉納しました。

5月4日 | 中町若宮神社

吉身さわやか塾 開講式・学習会



**よく学び楽しみ、絆を深める
第1回学習会は「江州音頭」**

1年間を通して、よく学び楽しみ、仲間との絆を深めることを目的に主催する「吉身さわやか塾」の開講式・学習会が行われ、約40人が参加しました。第1回の学習会では同公民館を拠点に活動する「江州音頭保存会」を講師に、近江商人が広めたと伝わる江州音頭の歴史や踊りを学び、櫓を囲んで音頭に合わせて踊りを楽しみました。

5月13日 | 吉身公民館

すし切りまつり



**大きな所作で鮒すしを切り分け
「かんこの舞」「長刀振り」も奉納**

下新川神社で例年5月5日に行われる、約2,000年前の故事が起源とされる、すし切り神事が営まれました。大勢の見物衆が見守る中、かみしも姿の若者2人が長い箸と包丁を使い、古式にのっとり大きな所作で鮒すしを切り分けたほか、ユネスコ無形文化遺産に登録された風流踊の「かんこの舞」「長刀振り」も奉納されました。

5月5日 | 幸津川町 下新川神社

広報もりやまは下記施設に設置

市役所、各地区会館、JR守山駅(駅前総合案内所)、図書館、すこやかセンター、市内金融機関、市内郵便局、市内平和堂各店とアルプラザ栗東、丸善守山店、市内セブンイレブン など

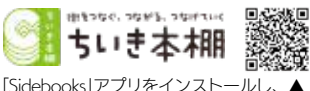
広報もりやまはスマートフォン・タブレットでも読めます



広報もりやま
PDF版



「マチイロ」アプリをインストール▲



「Sidebooks」アプリをインストールし、▲
「ちいき本棚」を選択

※アプリの使用は無料ですが、通信費は各回線ごとのご負担となります。
※アプリの閲覧中に広告が表示されますが、その内容に守山市は責任を負いません。

守山ニュース

びわ湖放送
毎月第1・3金曜日
午後6時20分～6時25分放送中

●1000年の歴史を守る!
近江のケンケト祭り長刀振り
6月6日(金)、20日(金)



YouTube「守山市広報」で
過去の放送を視聴できます

